



Press Release

2011年11月15日

株式会社バタフライ

スマートフォンユーザーの「チェックイン」行動を自動認証する 専用機器「チェックイン・プラスボックス」を開発いたしました

モバイルを中心としたエンターテインメントコンテンツを手がける株式会社バタフライ(本社:東京都新宿区、代表取締役社長 CEO:北村勝利)は昨年度から取り組んでいた新技術研究開発活動の成果として「Facebook」や「mixi」などのソーシャルネットワーキングサービス(以下、SNS)にリアル(現実世界)での「チェックイン」動向を自動的に認証・投稿するための統合システム(専用アプリ及び専用機器)を開発しましたのでご報告いたします。

＜当リリースの趣旨＞

スマートフォンユーザーが、アプリを立ち上げた状態で該当店舗に入店するだけで自動的に「チェックイン」認証を行う専用機器「チェックイン・プラスボックス」と、連動するスマートフォンアプリ「チェックイン・プラスアプリ」の総合システムの開発に成功いたしました。これにより世界的に普及するスマートフォンのサービス開発をする際の新しい選択肢が増えることとなります。現在事業化に向けて準備を進めておりますが、具体的な計画は未定であります。今後の課題として、施設や店舗等「場所」への正確な来店情報を必要とするパートナーを募り、業界初の新しいサービスやプラットフォームの開発に努めてまいります。また同時に、当該技術について特許出願中であることをご報告いたします。

＜チェックインとは＞

スマートフォンを活用した位置情報系サービス(ロケーションサービス)でいわれる「チェックイン」とは、ユーザーが今いる場所の位置をGPSで測定して記録し、存在証明を残すユーザー行動のことです。ユーザーが「チェックイン」した情報は「Facebook」や「mixi」といったSNS上で友達に報告・共有(シェア)され、クチコミで店や施設、場所の情報が広まっていきます。

＜開発の背景＞

従来のGPSを利用した「チェックイン」には構造的な限界がありました。GPSを利用した位置測位は、メートル単位での詳細な特定、つまり密集地での店舗の特定や同じ位置でもテナントビルのような階層的に重なる店舗の特定、およびGPSが測位できない地下などでは利用できません。そのため、GPSを利用したチェックインは測位した近辺の店舗や施設の候補を挙げ、最終的にはユーザーが選択、もしくは登録する形式が一般的でありました。

ここでの課題は、GPSによる位置測位を行いながらも最終的な場所の特定をユーザーの判断

に委ねなければならない申告制度にあり、チェックイン行動を偽証することが可能であります。このことが、スマートフォンにおける「チェックイン」という概念の展開と応用の構造的な限界でありました。

<「位置」情報から「場所」情報へ>

株式会社バタフライでは、GPS を使った認証の限界とユーザーの自己申告によらない客観的な「場所の認証」により、スマートフォンと位置情報の可能性を広げる以下の項目の実現を目指し、まったく新しい概念を実現する専用機器の開発に至りました。

これにより世界的に普及が進むスマートフォン、そして市場拡大が進む位置情報系サービスのジャンルに、またひとつ新しい機能、新しいサービス概念が生まれたこととなります。

■「チェックイン・プラスボックス」で可能になった機能

- ・アプリを立ち上げたまま店舗内に入ることによって自動的に「チェックイン」し認証を行う
- ・店舗密集地においてもユーザーの位置を店舗レベルで客観的に認証する
- ・テナントビルの1階店舗と2階店舗といった階層的な場所でも店舗レベルで客観的に認証する
- ・地下や屋内などアンテナが届かない、GPS 測位ができないポイントにおいても認証を行う

■参考情報

<市場の背景>

世界的に普及を見せるスマートフォンは、GPS 機能を使った位置情報との連動の容易さから、位置情報系サービス(ロケーションサービス)として一つのジャンルを形成しており、今後とも大きく伸びる市場の一つといわれております。

有名なロケーションサービスとしては、先般登録ユーザーが1000万人を超えた米国の「foursquare」や、世界最大のソーシャルネットワークである「Facebook」のスポット機能、国内においては「mixi」のチェックイン機能、ライブドアの手がける「ロケタッチ」やリクルートの「RecoCheck」が挙げられます。いずれもスマートフォンのGPS機能を用いた位置情報を基軸とし、「チェックイン」という概念を採用しております。

(次ページへ続きます)

■製品概要

<開発した専用機器「チェックイン・プラスボックス」について>

製品画像



- ・正式名称 :チェックイン・プラスボックス(CHECK-IN PLUS BOX)
- ・仕様 :プラスチック仕様による特殊信号発生装置
- ・サイズ :縦 150 ミリ×横 104 ミリ×奥行き 28 ミリ
- ・重量 :30 グラム
- ・電源 :3V~5.5V USB 充電アダプタ
消費電流 3V 時最大 4mA
- ・通信方法 :「チェックイン・プラスボックス」ごとに異なる ID 情報を発信しておりそれをスマートフォンが受信することで空間及び場所認証を行います
- ・特性 :この特殊信号は遮蔽性が高い特性を持っているため、特殊信号が店舗などの特定の空間から外へ出ることはなく、特定の場所内(店舗、限定空間)に限った「チェックイン」認証が可能です
- ・認証範囲 :車の内部といった狭い空間から、イベントホールのような広い空間まで認証可能です*

※一定条件の下の実験において、30メートルの範囲は認証可能です。

※特殊信号の強弱や方向性のコントロールにより、入り口のみといった範囲を指定することもできます。

(次ページへ続きます)

<専用アプリ「チェックイン・プラスアプリ」について>

- ・正式名称 : チェックイン・プラスアプリ
- ・対応機種 : <iPhone>iOS4.2 以上
<Android>Android バージョン 2.1 以上

チェックイン画面



コイン付与画面



チェックイン後の画面



※画像はイメージです。

<当システムの活用例>

例) 飲食店が Facebook ページに店内内容を誘導するケースとして
店内に当製品を掲示したイメージ



ユーザーのアクション

- ① 「チェックイン・プラスアプリ」を立ち上げたまま入店する
 - ② 「Facebook」のスポット機能に自動的に「チェックイン」する
 - ③ アプリの入力画面にコメントの入力や写真を貼付する
 - ④ 「Facebook」に接続し、アップロードする
 - ⑤ チェックインした店舗情報が「Facebook」上でシェアされる
- ※①から③までが「チェックイン・プラスアプリ」の機能です

※記載された社名および製品名/サービス名は各社の商標または登録商標です。

※記載された情報は発表日現在のものです。発表後予告なしに内容が変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社バタフライ 事業戦略グループ

TEL: 03-5155-5106 FAX: 03-5155-5109 MAIL: pr@butterfly-corp.jp